

京都新祝祭管弦楽団

Kyoto New Festival Orchestra

第5回特別演奏会

The 5th special concert

G.ビゼー

交響曲 ハ長調

G.Bizet : Symphony in C major

L.リーバーマン

ピッコロ協奏曲 作品50

L.Liebermann : Concerto for Piccolo
and Orchestra op.50

M.ラヴェル

ピアノ協奏曲 ト長調

M.Ravel : Concerto for Piano
and Orchestra in G major

M.ラヴェル

組曲「マ・メール・ロワ」

M.Ravel : Ma Mère l'Oye



指揮 湯浅 篤史



ピッコロ 和久井 穂波



ピアノ 小林 紗代子

2026.3.1 日 14:00開演 (13:15開場)

京都府立府民ホール アルティ

京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1

京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅より徒歩5分 (TEL 075-441-1414)

前売 ¥2,500/当日 ¥3,000 (全席自由)

* 未就学児の入場はご遠慮ください。

電子チケット

コードの読み取りだけで入場できる、便利なチケットです。

QRコードから手数料無料で購入できます。ぜひご利用ください。



チケット取扱 京都府立府民ホールアルティ ☎075-441-1414(窓口販売のみ)

・チケットぴあ[Pコード 310773] ☎0570-02-9999

(セブン-イレブン、ファミリーマートで購入可能)

・十字屋三条本店APEX ☎075-254-3750

・ドルチェ楽器大阪本社 ☎06-6377-1117

・VIRTUOSO VIOLINS ☎075-754-8406

・アメリカヤ楽器店 ☎075-441-2341

・ワイングローリアス ☎06-4791-0808

・Dufam(デュファム) ☎06-6479-1655

主催：京都新祝祭管弦楽団



Music Fusion in Kyoto音楽祭連携事業

特別協賛：三洲電線株式会社/株式会社マイティワイン

協力：株式会社十字屋 三条本店APEX/株式会社ドルチェ楽器

お問合せ kyoto.shinsyukusai@gmail.com(京都新祝祭管弦楽団)



Atsushi Yuasa



Honami Wakui



Sayoko Kobayashi

湯浅 篤史 指揮

京都市立堀川高等学校音楽科、京都市立芸術大学でヴァイオリンを専攻した後に、東京音楽大学でトロンボーンを専攻し卒業。大学在学中よりNHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団など在京のオーケストラをはじめ、全国各地の楽団に客演しプロ奏者としてのキャリアをスタートさせた。1989年の楽団創設時より11年にわたりオーケストラアンサンブル金沢（故岩城宏之音楽監督）の常任客員奏者として演奏活動に従事し数多くのコンサートやレコーディングに参加した。1998年～99年米国シカゴに留学、シカゴ交響楽団のメンバーより多くを学び帰国後指揮活動を開始する。2006年、京都祝祭管弦楽団の創設に参加し音楽監督に就任。ベートーヴェンの交響曲全曲演奏を完結させる他、国内外で活躍する一線級のソリストとの共演を重ねる。2012年、京都祝祭管弦楽団音楽監督を辞任、京都新祝祭管弦楽団の創設に参加し音楽監督に就任。ブラームスの交響曲、協奏曲の連続演奏を完結させたほかに、東日本大震災復興支援演奏会を数多く指揮し継続中である。オーケストラ、アンサンブルなどの編曲作品は多岐にわたり400曲を超え、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団、プラサアンサンブルなど、世界中の演奏家によりコンサートに取り上げられている。00年「湯浅篤史の個展」を開催、好評を博す。第26回京都芸術祭京都新聞社賞、第35回京都芸術祭京都府知事賞受賞。京都新祝祭管弦楽団音楽監督、名古屋プラサアンサンブル音楽監督、関西トロンボーン協会副会長、京都芸術祭音楽部門副実行委員長、Music Fusion in Kyoto音楽祭教育プログラムディレクターの他、京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師、兵庫県立西宮高等学校音楽科特別非常勤講師を務め、多くの後進の指導にあたっている。

和久井 穂波 ピッコロ

京都市出身。京都市立音楽高等学校（現 京都市立京都堀川音楽高等学校）を経て、同志社女子大学芸学部音楽学科演奏専攻卒業。第62回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部入選。第22回日本クラシック音楽コンクール全国大会フルート部門大学女子の部第5位。第17回日本フルートコンヴェンションコンクールピッコロ部門入選。第25～28回京都フランス音楽アカデミーにてジャン・フェランティス氏、第6回いこま国際音楽祭マスタークラスにて、レナーテ・グライス＝アーミン氏のクラスを修了。ファイナルコンサートに出演。パリにてピエール・デュマイ氏のピッコロマスタークラスを修了。同志社女子大学音楽学科管弦楽団、あうろすフルートアンサンブル、京都新祝祭管弦楽団と協奏曲を共演。第38回京都芸術祭京都新聞賞受賞。これまでに、小林千晶、虎谷朋子、長山慶子、市川智子、増本竜士の各氏に師事。現在、関西を中心にオーケストラの客演奏者として活動し、後進の指導にも力をいれている。JEUGIAミュージックサロン三条フルート・ピッコロ講師。ヤマハミュージックジャパン管打楽器インストラクター。京都新祝祭管弦楽団副首席奏者。

小林 紗代子 ピアノ

京都市出身。京都市立京都堀川音楽高等学校、京都市立芸術大学卒業。大学卒業時、京都音楽協会賞受賞。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。大学院在学時フランスパリへ渡り、パリエコールノルマル音楽院ピアノ科最高教育課程、室内楽科およびパリ地方音楽院コンサティスト課程を審査員満場一致、賞賛付きにて修了。全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位、ローゼンストック国際ピアノコンクール第2位、京都ピアノコンクール金賞及び協賛社賞、フランスクロード・ドボネン国際ピアノコンクール第2位及びロマン派作品賞、フランスParis Jeunes talentsコンクール第1位、パリールセル国際ピアノコンクール第2位など国内外の国際コンクールにて多数受賞。2022年パリ国立地方音楽院オーケストラとブームスピアノ協奏曲第一番を共演。2024年京都新祝祭管弦楽団とグリーグピアノ協奏曲を共演。第38回京都芸術祭賞を受賞。フランスではパリ市内美術館、ルールマラン古城、教会などでピアノリサイタルを行う他、パリオパン音楽祭、ノアンショパン音楽祭など数多くの音楽祭に出演。現在は関西とフランスの二拠点で演奏活動を行うほか、フランスパリ市内および郊外のコンセルヴァトワールにおいて後進の指導にあたっている。京都平安ライオンズクラブ、(公財)明治安田クオリティオブライフ文化財団、France Fondation Banque Populaire奨学金受賞。これまでにピアノを馬場和世、野原みどり、Bruno Rigutto、David Saudubray、田村響の各氏に、ソルフェージュを阿部純子氏、室内楽をYves Henry、歌曲伴奏をFrançoise Thillard、Nicolas Ferenbach氏に師事。

京都新祝祭管弦楽団

2012年、プロ奏者、アマチュア奏者、音楽を学ぶ学生らを中心に、京都に所縁のあるメンバーによる混成のオーケストラとして創設された。創立時より湯浅篤史が音楽監督を務める。若いメンバーがプロオーケストラのベテラン奏者よりオーケストラのノウハウを多角的に学び、同じステージで実践していくというアカデミックなスタイルを基本に、オーソドックスな作品から様々な演奏スタイルを習得し、スタンダードなレパートリーを着実に広げている。自主公演においてはブラームスの交響曲と協奏曲をツィクルスとして連続演奏し完結させた他に、東日本大震災の被災者のための復興支援演奏会を継続して開催してきた。2019年、初の海外公演をブラハ市にて開催し、復興支援のための委嘱作品「鏡風」～独奏トランペットを伴うオーケストラのための～（2018）（作曲：十河陽一、トランペット：北村源三）を国外初演した。また2024年開催の第9回定期演奏会において「天華地鳴」～オーケストラとKOBUDO-古武道-のためのトリプルコンチェルト～（作曲：十河陽一、京都新祝祭管弦楽団委嘱作品）を初演し注目を集めた。世代や立場を超えてオーケストラを愛するメンバーが集い、日本を代表する古都京都より発信する音楽のメッセージは多くの人々から注目されている。第37回京都芸術祭音楽部門京都府知事賞受賞。コンサートマスター古川葵、アシスタントコンサートマスター桐山敏明。https://knfo.jp



Kyoto New Festival Orchestra